

新座市立第二中学校 第2学年社会科(地理的分野・歴史的分野) シラバス

1 教科の目標

- (1) 我が国の国土と歴史、政治、経済、国際関係について理解し、調査活動や資料から得た情報をまとめる技能を身につける。(知識・技能)
- (2) 社会的事象について多面的・多角的に考察し、課題の解決に向け思考・判断する力や議論する力を養う。(思考・判断・表現)
- (3) 課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また多面的・多角的な考察や理解を通し、国民主権を担う公民として自国の平和と繁栄を図ること、他国を尊重することの大切さについて自覚を深める。(主体的に学習に取り組む態度)

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	【地理的分野】 ・日本の諸地域 ・地域の在り方	・いろいろな観点から、世界と日本、日本国内の地域間を比較して考察し、日本の地域的特色を多面的・多角的に理解する。 ・主題図や統計資料などから世界の人口分布の特徴をとらえることができる。 ・世界の人口分布は先進工業国とアジアの稲作地域に集中していることに気付くとともに、人々の暮らしに大きな影響を与えていることを理解する。 ・日本の各地域の地域的特色や人口問題について理解し、その問題点について考察する。
二学期	【歴史的分野】 ・近世の日本 (織田信長による統一事業～天保の改革)	・ヨーロッパ人の来航の背景を理解し、鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を考察する。 ・織田信長・豊臣秀吉から江戸幕府の統一事業までの大きな時代の流れについて理解する。 ・江戸時代の安定した社会が変化し行き詰まっていく原因について社会のしくみや経済の変化などから考察する。
三学期	【歴史的分野】 ・開国と近代日本の歩み (欧米の進出と日本の開国～日清・日露戦争と近代産業)	・開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程について理解する。 ・明治維新の諸改革の内容を調べ、近代国家がどのように形成されていったかを理解する。 ・明治維新による近代化によって、国際関係がどのように変化していったかを考察する。

3 評価の観点・資料

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	定期テスト(知識) 単元テスト(知識) 授業の取り組み(ノート・ワークシート)
思考・判断・表現	定期テスト(思考) 単元テスト(思考) ノート・ワークシート、レポート 授業への取り組み(発言・発表内容、グループ活動等)
主体的に学習に取り組む態度	課題への取り組み(授業参加、課題の提出)